

学校の規模や配置の適正化を

近年の少子化の影響などで、本町の幼稚園、小・中学校の園児・児童・生徒は激減しています。そのため、ほとんどの学校が小規模化していて、学校の規模や配置に不均衡が生まれているのが現状です。

検討委員会からの 答申を基に検討

町教育委員会では、より良い教育環境の創造を目指し、平成19年度に学校関係者や地域住民、学識経験者らと交えた「長島町立学校等の規模・配置の在り方検討委員会」を設置。幼稚園や小・中学校の適正規模、適正配置などについて基本的な考え方と具体的な方策を検討してきました。

平成21年2月に同委員会から答申が提出され、今後は、この答申を踏まえて町教育委員会では、通学区域の見直しや学校の統廃合などについて、学校関係者や保護者、地域の皆さんと一緒に検討していきます。

